

④差別はどこにある！

8課題の「共通すること」「共通しないこと」から、差別はする側の問題ということがわかったね。
ところで、差別はどこにあるのか、気付いたかな？



「差別はどこにあるのか」
それを考えていくために、わたしの講演会の話を紹介するね。

講演会では、人権書道として参加者に「〇〇を漢字一字で表すと?」「というお題を出すの。〇〇には、「自分」や「家族」、そして最後に「人権学習」を当てはめて考えてもらうの。みなさんは「人権学習」と聞いて、どんな漢字が浮かびますか？

わたしは「己」という漢字を書きます。なぜなら…



ある子どもとの出来事から

ある小学生から質問された。

「先生は差別を許さないと言うけど、差別はどこにあるの？差別はどうして生まれるの？」

わたしは、突然の質問にすぐ答えが出せずに、一晩考えた。

次の日、その子と向き合って

「おどろかないでね。差別はね…」

わたしは自分の胸むねに手をおいて「ここにあるの。そして、大事なはその心と毎日向き合っていくこと」と答えた。

人権学習を漢字一字で表すと

己

だから、わたしは「人権学習を漢字一字で表すと?」のお題に対して「己(おのれ)」と書くようにしているの。
わたしも自分(己)の中にある差別心と向き合っているの。その差別心が差別を生み出すことになると思うから。



えっ、千明さんの中にも差別心があるんだあ。

そうかあ。千明さんも自分の中にある差別心と向き合っている。すべての人が自分自身の差別心と向き合えば、差別をなくす大きな一歩となるんだ！

ぼくはどうだろうか…。

